



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澄田 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼財務経理部長

(氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,532	5.6	385	41.3	432	61.9	252	120.8
23年3月期第1四半期	6,185	10.8	272	152.5	266	89.9	114	142.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 301百万円 (139.0%) 23年3月期第1四半期 126百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	14.41	14.27
23年3月期第1四半期	6.53	6.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	25,934	21,854	83.0
23年3月期	27,501	21,693	77.7

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 21,530百万円 23年3月期 21,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成23年8月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	0.6	900	30.9	950	39.8	520	89.1	29.73
通期	26,500	2.4	1,700	16.8	1,800	17.5	950	23.4	54.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年8月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	18,218,901 株	23年3月期	23,218,901 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	715,195 株	23年3月期	5,728,795 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	17,491,152 株	23年3月期1Q	17,490,173 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

(参考)個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	10.3	900	315.7	540	654.4	30.87
通期	21,200	10.4	1,550	94.3	930	98.0	53.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

個別業績予想の修正については、本日(平成23年8月8日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 追加情報	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、3月11日に発生した東日本大震災により企業の生産活動などが大きな影響を受けて急速に落ち込んだものの、サプライチェーンの復旧に伴い鉱工業生産が回復に転じ、改善の動きがみられました。また、個人消費も震災後には不要不急の支出を控える動きが広がり急速に落ち込んだものの、自粛ムードが和らぐにつれて持ち直しました。しかしながら、電力不足などの不安材料が解消されないことから、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、震災に伴う部品不足などの影響が一部でみられ、テレビ等の民生機器需要は低調であったものの、携帯電話市場においては、新興国を中心にスマートフォンが好調だったほか、コンピュータ市場ではタブレットパソコンを中心に堅調に推移いたしました。また、NANDフラッシュメモリの旺盛な需要への対応から、半導体メーカーの設備投資が積極化しました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高65億32百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益3億85百万円（同41.3%増）、経常利益4億32百万円（同61.9%増）、四半期純利益2億52百万円（同120.8%増）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、当社グループが蓄積してまいりました高度なエンジニアリング力を効果的に活用して高付加価値製商品及びサービスの提供に努め、仕入先との更なるパートナーシップを強化すると共に既存顧客との関係強化・新規顧客開拓に注力し、積極的な営業活動を展開してまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、長期契約の更新が順調に進んだことなどにより、概ね堅調に推移いたしました。ASIC受託設計は、一部商品の生産終了に伴い一時的に売上が増加いたしました。自社製テストシステムは、スマートフォンやタブレット端末等の需要増により国内及び海外半導体メーカーにおけるフラッシュメモリ生産が好調に推移し、活発な設備投資が行われた結果、売上が大幅に増加いたしました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、震災の影響による顧客の開発プロジェクトの見直しや先送りなどにより前年同期実績に及びませんでした。

その結果、当事業の売上高は28億69百万円（同30.2%増）、セグメント利益は3億78百万円（同135.5%増）となりました。

〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に努めてまいりました。ハードディスク部門は、震災の影響から顧客の生産調整による落込みがあったものの、OA・FA及びその他アミューズメント向けにおける市況の回復及びシェア拡大により出荷台数が増加いたしました。デバイス部門は、デジタルテレビやDVDドライブの需要減及び単価下落に伴い、HDMIチップやレーザーダイオードドライブの売上が減少いたしました。アイティアアクセス株式会社の組み込みソフトウェア及びデジタル家電向け開発支援ビジネスは、概ね堅調に推移しておりますが、エコポイント制度終了の影響や一部受託開発案件の遅れなどにより、売上は減少いたしました。

その結果、当事業の売上高は36億62百万円（同8.0%減）、セグメント利益は79百万円（同52.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、259億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億67百万円減少しております。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金、商品及び製品が減少したことなどによるものであります。

一方、負債は40億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億28百万円減少しております。これは主に、借入金や未払法人税等、及び買掛金が減少したことなどによるものであります。

純資産は218億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億61百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は83.0%となり、前連結会計年度末に比べ5.3ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社は、平成23年5月12日に公表しました平成24年3月期の業績予想及び配当予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成23年8月8日付で別途公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,250,942	2,511,401
受取手形及び売掛金	7,390,113	6,921,562
商品及び製品	2,509,512	2,135,562
その他	2,184,934	2,365,200
貸倒引当金	△1,530	△406
流動資産合計	15,333,971	13,933,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,910,416	7,912,318
減価償却累計額	△3,405,727	△3,445,380
建物及び構築物（純額）	4,504,689	4,466,938
土地	5,672,632	5,672,632
その他	686,349	706,107
減価償却累計額	△455,796	△466,467
その他（純額）	230,552	239,640
有形固定資産合計	10,407,874	10,379,210
無形固定資産		
のれん	262,934	218,334
その他	82,257	94,604
無形固定資産合計	345,192	312,939
投資その他の資産		
投資有価証券	667,159	598,103
その他	846,583	718,396
貸倒引当金	△99,023	△7,310
投資その他の資産合計	1,414,719	1,309,189
固定資産合計	12,167,785	12,001,339
資産合計	27,501,757	25,934,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,041,292	1,750,264
短期借入金	1,000,000	—
未払法人税等	418,514	122,772
賞与引当金	—	50,779
役員賞与引当金	—	8,500
その他	1,819,604	1,661,851
流動負債合計	5,279,411	3,594,167
固定負債		
退職給付引当金	310,187	268,752
役員退職慰労引当金	35,430	29,084
その他	183,215	188,119
固定負債合計	528,832	485,957
負債合計	5,808,244	4,080,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	9,295,713	7,320,858
利益剰余金	3,912,721	4,024,934
自己株式	△2,266,303	△282,930
株主資本合計	21,459,291	21,580,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,062	1,219
繰延ヘッジ損益	△10,560	5,212
為替換算調整勘定	△93,537	△55,903
その他の包括利益累計額合計	△91,034	△49,472
新株予約権	95,760	87,256
少数株主持分	229,495	236,728
純資産合計	21,693,513	21,854,535
負債純資産合計	27,501,757	25,934,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	6,185,502	6,532,423
売上原価	4,825,099	4,995,674
売上総利益	1,360,402	1,536,749
販売費及び一般管理費	1,087,806	1,151,603
営業利益	272,596	385,145
営業外収益		
不動産賃貸料	61,053	107,112
その他	17,782	23,633
営業外収益合計	78,835	130,745
営業外費用		
不動産賃貸費用	71,941	82,368
その他	12,725	1,504
営業外費用合計	84,667	83,873
経常利益	266,764	432,018
特別利益		
投資有価証券売却益	694	—
貸倒引当金戻入額	546	—
退職給付制度終了益	—	49,359
特別利益合計	1,241	49,359
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,745	—
投資有価証券売却損	—	3,562
その他	1,280	790
特別損失合計	7,026	4,352
税金等調整前四半期純利益	260,979	477,024
法人税等	132,525	217,076
少数株主損益調整前四半期純利益	128,453	259,948
少数株主利益	14,245	7,814
四半期純利益	114,208	252,133

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	128,453	259,948
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,350	△11,843
繰延ヘッジ損益	31,055	15,772
為替換算調整勘定	△2,023	37,633
その他の包括利益合計	△2,318	41,562
四半期包括利益	126,134	301,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,889	293,696
少数株主に係る四半期包括利益	14,245	7,814

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,204,937	3,980,565	6,185,502	—	6,185,502
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,512	—	10,512	△10,512	—
計	2,215,449	3,980,565	6,196,014	△10,512	6,185,502
セグメント利益	160,862	166,680	327,543	△54,946	272,596

(注) 1. セグメント利益の調整額△54,946千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△54,305千円及び棚卸資産の調整額△641千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,869,902	3,662,521	6,532,423	—	6,532,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,236	—	4,236	△4,236	—
計	2,874,139	3,662,521	6,536,660	△4,236	6,532,423
セグメント利益	378,829	79,514	458,344	△73,198	385,145

(注) 1. セグメント利益の調整額△73,198千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△73,037千円及び棚卸資産の調整額△160千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年6月10日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、次のとおり自己株式を消却いたしました。これにより、資本剰余金および自己株式がそれぞれ1,977,993千円減少しております。

(1) 消却した株式の種類 普通株式

(2) 消却した株式の数 5,000,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 21.5%)

(3) 消却実施日 平成23年6月30日

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。